

平成 **32** 年度

事業者番号 0246 事業所番号 024601

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	C 平成20年度以降の3か年度(年度の途中から当該事業所の使用が開始された場合にあっては、当該年度を除く3か年度)連続して、年間原油換算エネルギー使用量が1,500kL以上の事業所(他の事業所の一部(区分所有部分、テナント部分等)である事業所は除く)
-------	---

(2) 事業所及び事業内容

事業所名	所沢市東部クリーンセンター		
事業所所在地	市区町村	所沢市	
	字・地番	大字日比田895番地の1	
産業分類名(中分類)	廃棄物処理業		
分類番号(中分類)	88		
事業活動の概要	事業内容 従業員数等	一般廃棄物の処理(中間処理) 従業員数:35名(令和2年4月1日現在)	

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第2計画期間の削減目標

計画期間		27	年度	~	31	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	基準排出量に対し、削減計画期間の平均削減率を13%以上とする。				
	その他ガス	平成21年度二酸化炭素排出量9,219t-CO ₂ に対し、平成24年度まで毎年度1%ずつ削減することを目標とした。 しかしながら、ごみ量やごみ質の変化によりその他ガスが増加したため、平成25年度より前年度排出量実績と同等量を維持することを目標とした。				
エネルギー起源CO ₂ の削減目標の概要	排出可能上限量(計画期間合計)	19,788	t-CO ₂	事業所区分 第2区分		
	削減目標量(計画期間合計)	2,957	t-CO ₂			

(2) 第3計画期間の削減目標

計画期間		32	年度	~	36	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	基準排出量に対し、削減計画期間の平均削減率を20%以上とする。				
	その他ガス	ごみ量やごみ質の変化によりその他ガスの影響が大きいため、前年度排出量実績と同等量を維持することを目標とする。				

3-1 事業所の温室効果ガス排出量

(1)原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計画期間				
	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
	1,818	1,888	1,937	1,965	1,598

(2)計画期間の温室効果ガス排出量の推移

 CO₂換算(t-CO₂)

		計画期間				
		27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源CO ₂		3,567	3,703	3,801	3,856	3,134
その他 ガス	非エネルギー起源CO ₂	14,817	17,606	15,628	17,808	17,005
	メタン					
	一酸化二窒素					
	ハイドロフルオロカーボン					
	パーフルオロカーボン					
	六ふっ化いおう					
	三ふっ化窒素					
温室効果ガスの合計		18,384	21,309	19,429	21,664	20,139

 (3)計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況(エネルギー起源CO₂)

 CO₂換算(t-CO₂/指標)

				計画期間				
				27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位				50.9571	53.6667	59.3906	61.2063	52.2333
活動規模の指標		生産量						
	○	処理量	千t/年	70	69	64	63	60

日本産業規格A列4番

3-2 温室効果ガス削減目標に係る状況

(1) 基準排出量

基準排出量	4,549	t-CO ₂ /年
基準排出量検証	基準年度検証実施済	

(2) 基準排出量の変更

変更年度		変更量	
変更年度		変更量	
変更年度		変更量	

(3) 目標削減率

目標削減率の区分	第2区分
----------	------

(4) 削減計画期間

27	年度から	31	年度まで
----	------	----	------

(5) 年度ごとの状況

		27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)	削減期間 合計	
基準 排 出 量 等	基準排出量(A)	4,549	4,549	4,549	4,549	4,549	22,745	
	トップレベル認定							
	目標削減率(B)	13.0%	13.0%	13.0%	13.0%	13.0%		
	排出上限量 (C = ΣA-D)							19,788
	排出削減目標量 (D = Σ(A×B))							2,957
実績	エネルギー起源 CO ₂ 排出量(E)	3,567	3,703	3,801	3,856	3,134	18,061	
	排出削減量 (F = A - E)	982	846	748	693	1,415	4,684	
特例	高効率設備の 算定量(※)							

※ 算定を希望する場合のみ記入する。別途、算定資料(任意様式)を添付すること。

(6) エネルギー起源CO₂排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

2018年度より設備の延命化工事を開始し、排ガス量低減・高温空気燃焼による発電量増加、灰溶融炉の廃止等を行っている。
上記工事により、2019年度より工場内自家発電で賄える事業所内の電力の割合が増加したため、エネルギー起源のCO₂排出量が減少した。

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対策の区分			対策概要	実施年度	推計削減量 (t) (一年度当たり)
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	310100	一般管理事項	31_推進体制の整備	省エネルギーパトロールの実施 週1回の実施 (第3計画期間も継続)	H26以前	
2	310100	一般管理事項	31_推進体制の整備	省エネルギー会議の実施 年2回の実施 (夏・冬) (第3計画期間も継続)	H26以前	
3	310300	一般管理事項	31_計測及び記録の管理	エネルギーの毎月の使用を把握し月報を作成 回覧による報告 (第3計画期間も継続)	H26以前	
4	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	グリーンカーテンの設置 管理棟南側に設置 (第3計画期間も継続)	H26以前	
5	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	通路照明の点灯方式の最適化 人感センサーによる点灯方式へ変更 (第3計画期間も継続)	H26以前	
6	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	照明設備を省エネルギー機器に交換 (第3計画期間も継続)	H26以前	
7	410700	事務用機器	41_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	OA機器の主電源OFF等の徹底 (第3計画期間も継続)	H26以前	
8	490200	その他	49_その他の削減対策	灰溶融炉の停止	H31年度	
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

(※希望者のみ記載)

自由記述欄

平成30年10月より使用電力の一部として、(株)ところざわ未来電力の電力(基礎排出係数0.035kg-CO₂/kWh)の使用を開始した。